

思春期の性教育ニーズの検討(1) — 教育内容と教育者 —

忠津佐和代*¹ 長瀬尚子*² 藤原 望*³

緒 言

近年わが国でも性行動の低年齢化が加速化し、10代の妊娠や人工妊娠中絶、性感染症の罹患率の増加により若者の健康が脅かされている^{1,2)}。思春期の性の健康問題が増加する背景には若者の意識や性行動の変化が大きく影響していると考えられる。また、従来の若者の性教育は、この若者の意識や行動に対応しておらず、若者の性の健康を維持・促進する効果的なものになっていなかったのではないかと懸念される。そこで、本研究では思春期の性教育ニーズを把握する基礎資料とするため、高校終了後の大学1年生の性に関する意識・知識・行動などを調査し、性教育ニーズのなかの教育内容と教育者について検討し、若干の知見を得たので報告する。

方 法

調査期間：平成13年7月2日～平成13年7月17日
調査方法：第5回青少年の性行動全国調査報告(1999)¹⁾を参考に作成した質問紙を用いて集合法により自記式質問紙調査を実施した。

倫理的配慮として、県某大学1年生のうち、調査期間内に調査依頼説明の承諾の得られた科目担当者の授業前に口頭と文書で授業後の調査依頼をし、承諾の得られた学生に授業後無記名で座席間隔をあけて調査を実施した。また、質問紙の回答は自由であること、統計的に処理するため個人情報とは公開されないこと、研究以外に使用しないことなどを書面と口頭で説明した。回収方法は回答面を内側に四つ折にして回収箱に回収した。

調査対象者：283名(男性：132名、女性：151名)
データの回収率94.0%(266/283件中)、
有効回答率96.6%(257/266件中)

分析対象者：257名(男性：115名、女性：142名)

調査内容：性について知りたいこと、性に関する悩みの有無と相談相手、性意識・行動への影響因子、

セックス(性交渉)経験に関すること、性感染症予防および避妊の実行とその理由、学校での性教育とその効果、学校以外での避妊教育の機会の有無など。
分析方法：本論文では、性について知りたいこと、性に関する悩みの有無と相談相手、性意識・行動への影響因子、セックス(性交渉)経験に関することなどの調査内容を単純集計した後、男女別に χ^2 の有意差検定を行った。但し、周辺度数が10以下のものについてはフィッシャーの直接確立法を用いた。

結 果

1. 属性

分析対象者は257名で、平均年齢は18.7±1.12歳であり、うち男性が44.7%(115名)、女性が55.3%(142名)を占めていた。

2. 性について知りたいこと(表1)

性について知りたいことは表1に示すとおりで、20項目中最も知りたいことは「男性と女性の心理や行動の違い(48.6%)」、続いて「エイズ(42.3%)」、「性感染症の知識(41.1%)」、「愛とは何か(38.3%)」、「避妊の方法(32.8%)」、「異性との交際の仕方(29.6%)」となっていた。男女の比較では、4項目で有意差が認められた。そのうち「性欲の処理の仕方」は男性が多く($p<0.05$)、「自分の体について」($p<0.001$)、「性に関する不安や悩みの相談に乗ってくれるところ」($p<0.01$)、「男性と女性の心理や行動の違い」($p<0.05$)の3項目は女性が多かった。

3. 性に関する悩みと相談相手(表2,表3)

性に関する悩みは表2に示すとおりで、悩みのある者(47.0%)は半数近くとなっていたが、男女で比較して有意差の認められたものはなかった。性に関する悩みの相談相手は表3に示すとおりで、相談相手は「友人(65.5%)」が最も多く、他は一割以下であった。一方、男女で比較して有意差の認められた相談相手は、「母」で女性に多かった($p<0.01$)。

*1 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 保健看護学科 *2 東京女子医科大学病院 *3 松山市立波和地小学校
(連絡先) 忠津佐和代 〒701-0193 倉敷市松島288 川崎医療福祉大学

E-Mail: tadatsu@mw.kawasaki-m.ac.jp

表1 性について知りたいこと

項目	(複数回答)			検定
	全体 N=253 数 (%)	男性 N=113 数 (%)	女性 N=140 数 (%)	
性器のつくりと働き	14 (5.5)	9 (8.0)	5 (3.6)	
初経	18 (7.1)	10 (8.8)	8 (5.7)	
射精	10 (4.0)	5 (4.4)	5 (3.6)	
二次性徴	9 (3.6)	6 (5.3)	3 (2.1)	
生命誕生	42 (16.6)	19 (16.8)	23 (16.4)	
セックス(性交渉)	51 (20.2)	22 (19.5)	29 (20.7)	
避妊の方法	83 (32.8)	31 (27.4)	52 (37.1)	
性感染症の知識	104 (41.1)	45 (39.8)	59 (42.1)	
エイズ	107 (42.3)	50 (44.2)	57 (40.7)	
性欲の処理の仕方	39 (15.4)	24 (21.2)	15 (10.7)	*
自分の体について	63 (24.9)	15 (13.3)	48 (34.3)	***
性に関する不安や悩みの相談にのってくれるところ	39 (15.4)	10 (8.8)	29 (20.7)	**
思春期の心理	66 (26.1)	32 (28.3)	34 (24.3)	
男性と女性の心理や行動の違い	123 (48.6)	46 (40.7)	77 (55.0)	*
異性との交際の仕方	75 (29.6)	33 (29.2)	42 (30.0)	
男性と女性の役割	37 (14.6)	17 (15.0)	20 (14.3)	
愛とは何か	97 (38.3)	46 (40.7)	51 (36.4)	
性は人生にどういう意味をもつか	53 (20.9)	18 (15.9)	35 (25.0)	
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
特に知りたいことはない	16 (6.3)	9 (8.0)	7 (5.0)	

(注)無回答を除く * : p<0.05, ** : p<0.01, *** : p<0.001

表2 性に関する悩み

	全体	男性	女性	検定
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	
ある	119 (47.0)	51 (45.1)	68 (48.6)	
ない	134 (53.0)	62 (54.9)	72 (51.4)	
合計	253 (100.0)	113 (100.0)	140 (100.0)	

(注)無回答を除く

表3 相談相手

	全体	男性	女性	検定
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	
父	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
母	9 (8.0)	0 (0.0)	9 (14.5)	*
兄弟姉妹	3 (2.7)	0 (0.0)	3 (4.8)	
友人	74 (65.5)	37 (72.5)	37 (59.7)	
先輩	1 (0.9)	1 (2.0)	0 (0.0)	
後輩	1 (0.9)	0 (0.0)	1 (1.6)	
恋人	4 (3.5)	2 (3.9)	2 (3.2)	
相談しなかった	21 (18.6)	11 (21.6)	10 (16.1)	
合計	113 (100.0)	51 (100.0)	62 (100.0)	

(注)無回答を除く * : p<0.05

4 . 性意識・行動への影響 (表4)

性にかかわる意識や行動に最も影響を受けたものは表4に示すとおりで、「13項目中で「友人(53.0%)」が最も高く、「マンガ・コミックス(11.1%)」、「ビデオ(6.0%)」、「テレビ・ラジオ(4.6%)」と続いていた。一方、男女で有意差のみられたものは「先輩」(p<0.05)と「ビデオ」(p<0.001)で、ともに男性が多かった。

表4 性意識・行動への影響

	全体	男性	女性	検定
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	
親	6 (2.8)	3 (3.0)	3 (2.6)	
兄弟姉妹	6 (2.8)	2 (2.0)	4 (3.4)	
友人	115 (53.0)	49 (49.0)	66 (56.4)	
先輩	5 (2.3)	5 (5.0)	0 (0.0)	*
学校の授業	6 (2.8)	1 (1.0)	5 (4.3)	
新聞や雑誌の記事	3 (1.4)	1 (1.0)	2 (1.7)	
マンガ・コミックス	24 (11.1)	11 (11.0)	13 (11.1)	
その他の本	5 (2.3)	4 (4.0)	1 (0.9)	
テレビ・ラジオ	10 (4.6)	4 (4.0)	6 (5.1)	
ビデオ	13 (6.0)	12 (12.0)	1 (0.9)	***
インターネット	1 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.9)	
その他	6 (2.8)	2 (2.0)	4 (3.4)	
特にない	17 (7.8)	6 (6.0)	11 (9.4)	
合計	217 (100.0)	100 (100.0)	117 (100.0)	

(注)無回答を除く * : p<0.05, *** : p<0.001

5 . セックス(性交渉)の経験(表5)

セックス(性交渉)の経験の有無は表5に示すとおりで、全体ではほぼ半数の者(48.8%)が経験しており、男女の比較ではセックス(性交渉)の経験者は女性(43.9%)に対して男性(53.0%)がやや多かったが有意差は認められなかった。

表5 セックス(性交渉)の経験

	全体	男性	女性	検定
	数 (%)	数 (%)	数 (%)	
ある	122 (48.0)	61 (53.0)	61 (43.9)	
ない	132 (52.0)	54 (47.0)	78 (56.1)	
合計	254 (100.0)	115 (100.0)	139 (100.0)	

(注)無回答を除く

6. エイズや感染症の気がかり(表6)

セックス(性交渉)をするならエイズや感染症が気になるかについては表6に示すとおりで、3選択肢のうち「少しは気になる(52.8%)」者が最も多く、「全然気にならない(12.0%)」者は約1割であった。一方、男女の比較では、「非常に気になる」は女性に多く($p<0.01$)、「全然気にならない」は男性に多く($p<0.01$)有意差が認められた。

表6 エイズや感染症の気がかり

	全体		男性		女性		検定
	数(%)	数(%)	数(%)	数(%)	数(%)	数(%)	
非常に気になる	88(35.2)	29(25.7)	59(43.1)	**			
少しは気になる	132(52.8)	62(54.9)	70(51.1)				
全然気にならない	30(12.0)	22(19.5)	8(5.8)	**			
合計	250(100.0)	113(100.0)	137(100.0)				

(注)無回答を除く **: $p<0.01$

7. 妊娠の可能性の気がかり(表7)

セックス(性交渉)をするなら妊娠の可能性が気になるかについては表7に示すとおりで、3選択肢のうち「非常に気になる(63.9%)」者が最も多く、「全然気にならない(3.2%)」者は極少数であった。一方、男女の比較では、「非常に気になる」は女性に多く($p<0.001$)、「少しは気になる」は男性に多く($p<0.001$)とも有意差が認められた。

表7 妊娠の可能性の気がかり

	全体		男性		女性		検定
	数(%)	数(%)	数(%)	数(%)	数(%)	数(%)	
非常に気になる	159(63.9)	56(49.6)	103(75.7)	***			
少しは気になる	82(32.9)	51(45.1)	31(22.8)	***			
全然気にならない	8(3.2)	6(5.3)	2(1.5)				
合計	249(100.0)	113(100.0)	136(100.0)				

(注)無回答を除く ***: $p<0.001$

考 察

1. 本調査の大学1年生の性に関する意識・知識・行動の特徴

(1) 性について知りたいことについて

性について知りたいことについて調査した内容項目は、「生理・病態的側面(9項目)」と「心理・行動的側面(9項目)」に分類される。学生が知りたい上位から上げると、「心理・行動的側面」である「男性と女性の心理や行動の違い」を約半数の学生が、続いて「生理・病態的側面」である「エイズ」および「性感染症の知識」と「心理・行動的側面」である「愛とは何か」では約4割の学生が、さらに心理・行動的側面である「避妊の方法」および「異性とのお付き合いの仕方」では約3割の学生が希望していた。この上位6項目中に心理・行動的側面の項目が4項目を占めており、このことから新入生が知りたいこと

の多くは心理・行動的側面であり、生理・病態的側面については大半が高校までの性教育などで学習済みであることが窺われる。

男女の比較で有意差の認められたものは4項目あり、男女で知りたい項目にかなり違いがみられた。そのうち男性は「性欲の処理の仕方」を、女性は「自分の体について」・「性に関する不安や悩みの相談に乗ってくれるところ」・「男性と女性の心理や行動の違い」を知りたい者が多いことが明らかとなった。

一方、第5回青少年の性行動全国調査報告³⁾において学校での性教育学習経験から同様のことが認められていることから、今後の性教育に追加する内容として、心理を伴う性の生理的なメカニズムに伴って男女に起こりやすい心理や行動、および相談機関の情報提供を取り上げる必要が示唆された。

(2) 性に関する悩みと相談相手について

男女とも半数近くの学生が性に関する悩みをもち、もっとも多い相談相手は「友人」で約7割弱を占めており、他はどれも1割以下であった。このことから、意思決定まで影響を与える性教育者として相談相手となりやすい同年代の若者が望ましいと考えられた。一方、家族の中での相談相手としては、唯一「母」は女性のみであるが1割強を占めており、近年の母と女子学生のなかには友達のような横の関係に近い関係性の人たちが存在することが窺われる。

(3) 性意識・行動への影響について

性にかかわる意識や行動に最も影響を受けたものは13項目中で「友人」が約5割と最も多く、「マンガ・コミックス」は約1割、「ビデオ」と「テレビ・ラジオ」は1割にも満たず、「友人」の影響の強さが窺われた。一方、男女の比較で男性が有意に多かったのは「先輩」と「ビデオ」であり、男性には女性と異なる影響因子があることが明らかとなった。第5回青少年の性行動全国調査報告⁴⁾においても大学生は男女とも「友人」が8割前後と最も多くなっていたが、「マンガ・コミックス」は大学生(男子約7割、女子6割弱)、「ビデオ」は大学生(男子8割弱、女子1割強)となっており、本調査結果とかなり開きがあった。

(4) セックス(性交渉)の経験について

セックス(性交渉)の経験の有無において、男女の比較ではセックス(性交渉)の経験者は男性が5割強に対して女性が4割強となっており、従来の男女差の傾向がみられた。一方、第5回青少年の性行動全国調査報告⁵⁾では、セックス(性交渉)の経験は高校生(男子3割弱、女子2割強)、大学生(男子6割強、女子5割)となっていた。大学において学年が進む毎に経験者が多くなることが窺えた。した

がって、高校卒業までに具体的な避妊方法や性感染症予防方法について身につける必要があると考えられる。

(5) エイズや感染症の気がかりについて

セックス(性交渉)をするならエイズや感染症が気になるかについては、「少しは気になる」者が約5割であったが、「全然気にならない」者は約1割とエイズに対する知識や予防の必要性の認識が不十分であることが窺えた。一方、男女の比較では「非常に気になる」者は有意に女性に多く、逆に「全然気にならない」は有意に男性に多く、特に男性に性感染症予防の啓発が求められる。

(6) 妊娠の可能性の気がかりについて

セックス(性交渉)をするなら妊娠の可能性が気になるかについて、3選択肢のうち「非常に気になる」者が6割強と最も多く、男女の比較では有意に男性が少なかった。このことから、セックス(性交渉)による妊娠の可能性について男女ともまだまだ

啓発が必要であるが、より男性の自覚を促す必要性が示唆された。

2. 教育内容と教育者について

経済的にも精神的にも自立した成人に達する以前の、思春期へのセックス(性交渉)経験の低年齢化現象が起こっているにもかかわらず、セックス(性交渉)による妊娠や性感染症の発症リスクの認識が低く、避妊や性感染症予防の必要性を啓発していくことが求められる。またこの啓発者として、若者のもっとも多い性の悩みの相談相手である友人に近い同年代の若者⁶⁾が、意思決定まで影響を与える性教育者として望ましいと考えられる。

本研究をまとめるにあたり、アンケート調査にご協力いただきました某大学の学生に感謝いたします。また、アンケート作成などに参画いただきました竹本安希さんに心よりお礼申し上げます。

文 献

- 1) 日本性教育協会編：「若者の性」白書第5回青少年の性行動全国調査報告。小学館，東京，1-13，2001。
- 2) 松本清一監修，高村寿子編著：性：セクシュアリティの看護。初版，建ぼう社，東京，54-65，2001。
- 3) 日本性教育協会編：「若者の性」白書第5回青少年の性行動全国調査報告。小学館，東京，110，2001。
- 4) 日本性教育協会編：「若者の性」白書第5回青少年の性行動全国調査報告。小学館，東京，80，2001。
- 5) 日本性教育協会編：「若者の性」白書第5回青少年の性行動全国調査報告。小学館，東京，11-12，2001。
- 6) 松本清一監修，高村寿子編著：性の自己決定能力を育てるピアカウンセリング。第1版，小学館，東京，86-118，1999。

(平成17年11月20日受理)

**Analysis of the Sexuality Education Needs of Adolescents
— Educational Contents and the Educator —**

Sawayo TADATSU, Naoko NAGASE and Nozomi FUJIWARA

(Accepted Nov. 20, 2005)

Key words : adolescents, sexual behavior, sexual consciousness, sexual knowledge, sexuality education needs

Correspondence to : Sawayo TADATSU

Department of nursing, Faculty of Health and Welfare
Kawasaki University of Medical Welfare
Kurashiki, 701-0193, Japan
E-Mail: tadatsu@mw.kawasaki-m.ac.jp

(Kawasaki Medical Welfare Journal Vol.15, No.2, 2006 635-638)